群馬銀行の沿革

統合・再編の歴史 ~ 淵源から142年、創立後88年、群馬銀行として65年~ 1932年9月 県内中小金融機関の大同合併を目的に 《群馬県金融株式会社の設立》 《当行の淵源》 改称 《当行の設立》 群馬 第三十九 統合·再編 群馬銀行 大同銀行 国立銀行 1955年 1878年設立 1932年11月(昭和7年) (明治11年) (昭和30年) 2行(群馬・上州)を吸収合併し 群馬大同銀行へ社名変更 《当行の創立》 昭和7年 昭和19年 (1932年) (1944年) (1926年) 群馬県内 6行統合 《24行》 《7行》 普通・貯蓄・商業銀行 《約40行》

1973.10

リース業務

(連結子会社)

ぐんぎんリース株式会社

1983.09

ローン保証業務

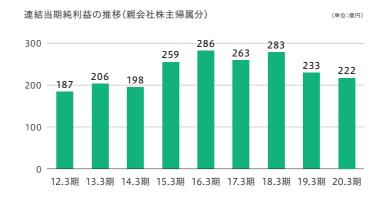
(連結子会社)

群馬信用保証株式会社

ANTITION

■1970年2月 東京証券取引所(第一部へ指定替)

■最近の業績推移





■最近の中期経営計画

価値提案力の強化

2013.4 V 2016.3

「V−プラン」

~価値提案銀行への進化~ それまでのサービスの質の向上を継承しつつ コンセプトを価値ある提案へ進化。



2016.07(資本参加)

スカイオーシャン・

投資信託委託業務 (持分法適用関連会社)

アセットマネジメント株式会社

[Value for Tomorrow]

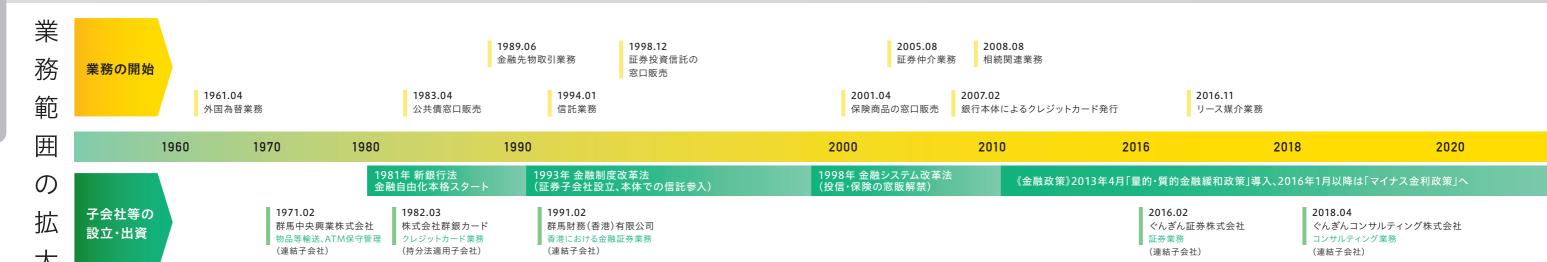
~価値ある提案を明日に向けて~ 新たな収益機会の創出により、「明日」に向けた 持続可能なビジネスモデルを構築。

2018.06

デジタル化推進

(地銀7行の共同出資)

株式会社フィンクロス・デジタル



ぐんぎんシステムサービス株式会社 ソフトウェア開発・販売業務 (特分法適用子会社)